

クマのオルゴール(香箱の破損)

ゆきや(2023.06.08)



「星に願いを」のメロディーと共に、首を振ってくれるクマのぬいぐるみです。それが鳴らないし、首も動きません。

背中に突き出ているネジを巻いてみても、ゼンマイの巻き戻りを防ぐ「クリクリ」音が聞こえませんが、手応えもありません。歯止めのギヤが壊れているのかも知れません。

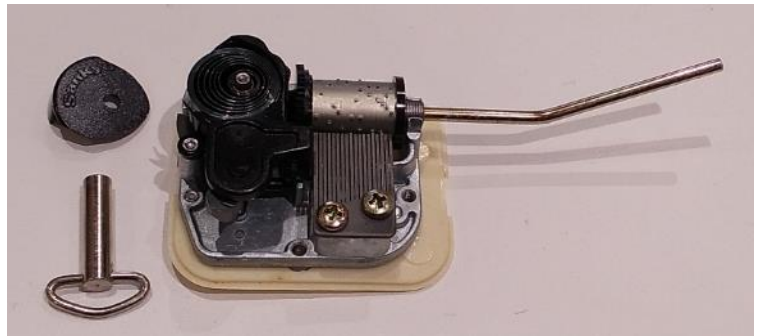
ぬいぐるみのお尻を切開し、内袋を開いて、メカを取り出してみました。



メカは合わせ蓋のケースに収められています。右に突き出ているのが首を動かすためのシャフトで、ぬいぐるみのクッションの中で滑らかに動くように、鞘に納められています。

ケースのはめ込みを外して、メカを取り出します。

Sankyo (現「ニデック」) の標準的なムーブメントです。これならば、同型の代替品に交換することも可能です。(結局不要でしたが。)



首を動かすシャフトはシリンダーの中心に差し込み、「戻り」が付いていて抜けなくなっています。

大変なことに気付きました。

ゼンマイを覆っている香箱の上部が割れて外れていたのです。香箱が劣化してひび割れたのか？ それとも巻ネジに強い力が加わり、ゼンマイを押し上げて、突き破ったのか？

この結果、巻き戻りの歯止めが浮いて、効かなくなっていたのです。





香箱の外れた部分を嵌め、指で抑えて、ゼンマイを巻いて見たところ、歯止めも効いて、オルゴールが鳴り始めました。

原因は分かりましたが、いつまでも指で抑えている訳にも行きません。

この薄いフタをどうシッカリ固定すれば良いのか？



取り敢えず割れた部分を接着しました。

さらに、手持ちのアルミの切片で香箱の上部全体を接着して固め、上から抑え込むことにしました。

当初はそのアルミ片を、ステンレス線で十文字に結束する事も考えました。ただこの上にケースがかぶさるから、スペースにあまり余裕がありません。

また無理に抑え付けると、调速部やシリンダーなどの回転に影響する心配もあります。

結局こんな便法に落ち着きました。
アルミ片の上にクッション材を貼り付け、ケースをかぶせて、抑え込むことにしたのです。
接着もしっかり出来て、ケースも頑丈に思われたからです。

ぬいぐるみを閉じて、クマは静かに演奏を始め、首も可愛らしく動くようになりました。



蛇足ですが、香箱のこんな壊れ方はこれまで見た事がありません。
大概是、台座とのカシメ部分が割れて、香箱全体が外れていましたから。

以上